

01 教会ニュース

みことばで変えられているイスラエルの牧会者福音を伝えるにイスラエルで、クリスタルフォーラム主催の牧会者セミナーが毎年開催され、牧会者が変化と神の力を体験している。

02 いのちのみことば

聖書の著書である神救いと永遠のいのちを与えるのは聖書だけであり、神はみことばにかたう人々が神の靈感によって記すようになった。

03 特集

良いものを下さる神様の恵み～聖霊様の助けで家族が福音化されたキム・ジョンウン執事、奉仕をしたら健康になって心配、憂いもなくなったというパク・ヒョンホ執事の証し。

04 証し

「感謝の実がぎっしりです！」教会で奉仕する聖徒があふれる感謝の条件を下さった父なる神にささげる感謝の告白。支教会1月スケジュール

万民ニュース

第170号 2016. 12. 25.
MANMIN NEWS
TEL: 82-2-818-7063
www.manmin.org

イスラエルで開催された2016年牧会者セミナー

ロシア、ウクライナ、キルギスタンからも出席



全人類の救い主イエス様がお生まれになった国で働いているという誇りと自負心の強いイスラエルの牧会者がみことばを慕って毎年イ・スジン牧師(写真1)を招いてセミナーを開催している。霊的な深いみことばが、伴うしるしとともに宣傳伝えられているからである(写真2牧会者セミナー、写真3と4ナザレ・スピリット・オブ・ライフ教会とテルアビブ「来て、そして、見なさい」万民教会の集会)。

イスラエルのクリスチャン牧会者の集いクリスタルフォーラム主催で、牧会者セミナーが今年11月3～4日、エルサレムのラマツラケル・ホテルで開催された。

セミナーにはイスラエルだけでなくロシア、ウクライナ、キルギスタンからも参加した。セミナーに先立って、万民中央教会の芸能委員会のハン・ジュギョン賛美宣教師のヘブライ語、ロシア語、英語の三か国の賛美とパワーワーシップチームのレベルの高い踊りは参加者に大きい感動を与えた。

講師イ・スジン牧師(万民中央教会教職者会長)は、堂会長イ・ジェロク牧師が数えきれない断食と祈りをささげた結果、聖霊に動かされて解き明かされた聖書の難解聖句の一部を説明した。「水でぶどう酒を作られたカナでの最初のしるし」「人の子の肉を食べてその血を飲んでこそ永遠のいのち」「子羊を食べる方法」「天国は激しく責められている」「エルサレムで死ぬ生き方」など、難解聖句の深い霊的な意味を説明したので、牧会者たちは悟って大いに感動した。

続く祈禱会で、牧会者たちはみことばどおり行わないで教えるばかりだったことを悔い改め、行いで手本となるまことの牧会者になろうと心を固めた。ある牧会者は「このような難解聖句の解き明かしを受けたイ・ジェロク先生に感銘しました。これから祈りと熱心でみことばを尊く思って、変えられた牧会者になります」と告白した。

ウクライナから来た総会長は、来年は是非ウクライナに来てくださいと依頼した。また、ホロコースト生存者後援連盟の会長アンドレ・カジロフスキー博士は故郷ポーランドにイ・スジン牧師を招いて大規模集会を開催したいと述べ、2018年のイスラエル独立70周年を迎え、政府が後援して自分の団体が主催する、国を挙げての行事にも招いた。

11月5日午前にはナザレのスピリット・オブ・ライフ教会(担任セルゲイ・ボチャルニコフ牧師)で「十人の娘のたとえ」を、午後にはテルアビブの「来て、そして、見なさい」万民教会(担任トシ・ムレンガ牧師)で「人の子の肉を食べてその血を飲んでこそ永遠のいのち」を説教した。

また、11月2日にはクリスタルフォーラム創立8周年の記念行事があった。クリスタルフォーラムは、イエス様を救い主として受け入れないユダヤ教勢力の前に力を失って疎外されていたイスラエルの牧会者たちが、2007年からイスラエル全域を巡回して活発に働いたイ・ジェロク牧師の持続的な宣教によって霊的な大胆さを得、2008年に結成した団体である。その後

「2009年イ・ジェロク牧師招へいイスラエル連合大聖会」をはじめ、毎年、賛美フェスティバルと子ども・青少年キャンプなど、多様な行事を開催して魂を目覚めさせている。毎年、万民中央教会の宣教チームを招いて、記念聖会と牧会者セミナーを開催することでイスラエルの牧会者と聖徒が聖潔の福音で変えられ、神の力あるわざを体験している。

収穫感謝主日記念礼拝と聖餐式

一年間、信仰によって蒔いて行ったすべてを主にあって豊かな実として刈り取るように祝福された神に感謝する収穫感謝祭。万民中央教会は11月20日の主日大礼拝を収穫感謝主日記念礼拝としてささげた。

夕方礼拝の説教後、本聖殿と第2～6聖殿、母子室、ソウル近郊の各支聖殿と韓国と全世界の支教会で、主の肉と血を記念してパンとぶどう酒を分ける聖餐式を行って、主の恵みを覚えた。



2015収穫感謝全日

聖書の著者である神



堂会長イ・ジェロク牧師

「聖書はすべて、
神の靈感によるもので、
教えと戒めと矯正と
義の訓練とのために有益です。」
(第二テモテ3:16)

教会に出て来れば、誰でも救いの道が明らかに記されている聖書に接することができる。聖書は神が人間をなぜ造られて、人類の歴史をどう導いていかれるのか、人間耕作の初めと終わりについて、そして救い主イエス様と助け主聖霊、天国と地獄、人の本分などについて詳しく教えている。はたして聖書の著者は誰だろうか？

1. 聖書の著者と記録者の違い

世には多くの本があるが、聖書だけが人に救いと永遠のいのちを与えることができる。聖書は旧約39巻、新約27巻で合計66巻であり、記録された年代はB.C.1,500年からA.D.100年までの約1,600年間である。記録者だけでも30人を超えているが、彼らは著者でなく、代筆者であるだけだ。

たとえば、年老いた母親が息子の代筆で手紙を書かせても、母親の手紙である。このように、聖書も神がみどころにかなう人々をつかさどって、神の靈感によって記させたものだから、聖書の著者

は神なのである。

〈第二ペテロ1:21〉に「なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。」とある。〈イザヤ34:16〉には「【主】の書物を調べて読め。これらのもののうちどれも失われていない。それぞれ自分の連れ合いを欠くものはいない。それは、【主】の口がこれを命じ、主の御霊が、これらを集めたからである。」とある。

全知全能の神が神の靈感によって記すようになされたので、いくら聖書の記録者が多くても、ひとりの文のように全く矛盾がなく、一貫性があるように構成されている。

2. 神の靈感によって記された聖書

聖書はすべて神の靈感によるものなので、解釈する時も必ず聖霊に動かされて解釈しなければならない。もし人の思いや知識で解釈するならば、神のみことと違うように解釈して、かえって滅びの道に行くことがある(第二ペテロ3:16)。

しかし、聖霊に動かされて解釈すれば、聖書に記されているみことばの節が互いに連れ合いになっていることが悟れる(イザヤ34:16)。玉が糸に通されて美しい首飾りになるように、聖書の節が互いに連れ合いになって補完され、霊的な意味を完全に説明できるからである。

たとえば、〈使徒2:21〉に「しかし、主の名を呼ぶ者は、みな救われる。」とある。ところが、このみことばだけでは救いについての神のみことを完全に説明できない。〈マタイ7:21〉に「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、…」とあるとおり、主の御名を呼ぶだけでは救われる条件を完全に満たさないからである。

したがって、〈ローマ10:10〉に「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」とあるとおり、心に信じて義と認められた人でこそ、口で救い主を告白して救われることができるのだ。では、「心に信じる」とはどういうことだろうか？

〈ヤコブ2:14〉を読めば「私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがなければ、何の役に立ちましょう。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。」とある。心に信じて義と認められれば、何としてでも

罪を捨ててみことばどおり生きようとする行いが必ず伴う。

また、〈ローマ3:28〉に「人が義と認められるのは、律法の実行によるのではなく、信仰によるというのが、私たちの考えです。」とある。だから、熱心に真理を行うとしても、信仰によって行うのではない時は義と認められないのである。したがって、心に信じるということは、聖なる行いが出て来る聖なる心に変えられること、すなわち、心の割礼をすることを意味している。

このようにみことばの連れ合いを知らなければ「イエス様を救い主と認めて心に信じさえすれば、罪の中で生きていても救われる」と思って、真理を取り違えて罪を犯して滅びに至ることがある。神のみことを正しく知るには、そのみことばの連れ合いを知り、聖霊に動かされて解釈しなければならない。

3. 永遠の真理である神のことば

聖書は神のことばであり、その中に記されているみことばは真実である。これは歴史的にも証明できる。旧約に記されているイスラエルの歴史と周辺民族の事件と登場人物、場所や慣習などを調べれば、一つ一つが事実である。

また、聖書には多くの預言が出て来るが、全部そのまま成就してきた。一例として、〈ルカ19:43~44〉に「やがておまえの敵が、おまえに対して壘を築き、回りを取り巻き、四方から攻め寄せ、…一つの石もほかの石の上に積まれたままでは残されない日が、やって来る。…」とある。これはエルサレムの滅亡についての預言で、この時から40年余り経った西暦70年にそのまま成就したのが見られる。

この他にも、神は旧約にイエス様のお生まれと働き、苦しみ、復活などを預言されたが、新約で完全に成就した。まずイエス様のお生まれについて、神は救い主がイスラエルの民のところに來られることを告げてくださった。神が蛇を呪われたとき、「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかどにかみつく。」と仰せられた(創世記3:15)。救い主が女の子孫として來られて、死の力を打ち破ることを預言したのだ。ここで「女」とはイスラエルを意味するが、実際にイエス様はイスラエルのユダ部族に属するヨ

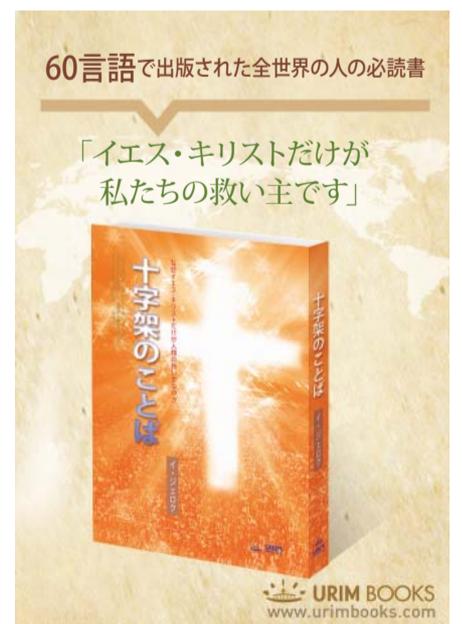
セフの子としてこの地上に來られた(ルカ1:26~32)。

〈イザヤ7:14〉に「それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えらる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。」とあり、〈ミカ5:2〉には「ベツレヘム・エフラテよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、わたしのために、イスラエルの支配者になる者が出る。…」とあるが、預言どおりイエス様はおとめマリヤの胎に聖霊によって宿り、ベツレヘムのある宿屋の家畜小屋でお生まれになった。

イエス様がエルサレムに入城された時も、〈ゼカリヤ9:9〉のみことばどおり、ろばに乗って入城された。また、〈詩篇41:9〉のみことばどおり、イスカリオテ・ユダがイエス様を裏切って売った。この他にもイザヤ書、詩篇、ゼカリヤ書などにイエス様の苦しみと葬られたこと、復活と昇天に至るまで詳しく預言されているとおりに新約で成就した。今はイエス・キリストの空中降臨と携挙、七年大患難、千年王国、白い御座の大審判などが残っている。

愛する聖徒の皆さん、

聖書66巻が神のことばであることを心に確かに信じ、その中に記されている戒めを努めて行われるように。そして、生ける神がいつも御手を差し伸べてくださって祝福され、永遠に愛を分かち合うことのできるまことの子どもになられるように、主の御名によって祈る。



Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

キム・ジョンウン執事(46歳、ポハン万民教会・男性宣教会会長)

「家族の福音化はもちろん、 答えといやしの証しがあふれています」

主を受け入れる前、私はする事ごと
にうまく行かなかった人でした。自分な
りにお金を儲けるために努力しましたが、
残ったのはたくさんの借金だけでした。

教会に通えばちょっと良くなるので
はないかと思って、ソウルに住んでい
る一番上の姉に良い教会を推薦して
ほしいと頼み、2003年4月からポハン
万民教会で本格的に信仰生活を始
めました。

当時、万民中央教会が歪曲報道さ
れた某放送事件の余波で、周りから私
を引き止めたりもしました。でも一番上
の姉(他教会に出席)が「何回か万民中
央教会に行ってみただけ、イ・ジェロ
ク先生は良い方で、あの放送事件の
後、教会がかえってリバイバルしてい
るから気にしないで」と言ったのです。

その後、私は先生が姉の手をぎゅっ
と握って、とても感謝しているという表
現をなさる夢を見ました。私は堂会長
先生の説教と真実な姿にとっても恵み
を受け、神の力あるわざを通して天
国と地獄があるということが確かに信
じられたので、愛する家族のために祈
り始めました。

ところが、7年間祈って伝道しても誰
も教会に来ません。でも「私たちが光
の中にとどまる時に福音化される」と堂
会長先生が何度も言われたので、私は

変えられようと努力しました。

2010年当時、(株)ライムインシュに入
社して保険設計の仕事をしたので
すが、十分の一献金100万ウォンをさ
さげる祝福をいただきました。その後、家
族が私を見る目が変わり始めると、決
定的に家内は堂会長先生の夢を見た
後に神様の愛を感じて、心が180度変
わりました。

夢で家内が泣いているのですが、堂
会長先生が来られて「思いっきり泣きな
さい」と言って、頭に白い亜麻布をかぶ
せて見つめてくださったそうです。そう
やって主にあつて変えられた家内と一
緒に、家族と親戚の福音化に努めまし
た。堂会長先生が完全に福音化される
ようにと祈ってくださったすぐ後、両親
と兄の家族、家内の妹の家族が伝道さ
れました。

父は教会に来てさほど経たないう
ちに今までしていた先祖供養をやめ
て、それに使う器を出して捨てまし
た。そして兄を伝道しました。兄のキ
ム・ジョング執事は教会に出席すると
一気にタバコをやめて、パニック障害
が完全にいやされました。また、B型
肝炎で3か月に一回病院に行き、毎
日薬を服用しなければならなかった
のですが、今は信仰によっていやさ
れて元気になりました。兄嫁は胃が良

くなくてまともに消化できなかったの
ですが、いやされました。

母は心臓疾患と慢性だった皮膚病
と水虫が、家内は腰痛がいやされまし
た。息子ダビンは足首をくじいて歩け
なかったのですが、堂会長先生の説教
を聞いているうちにいやされました。

家内の実家もいやしと変化の祝福
をいただきました。家内の母は椎間板
ヘルニアが、姉の主人は脊椎狭窄症
と深刻な水虫がいやされました。妹は
手首と腰の痛みがいやされ、下の息子
ジュンホンの頭からクモが抜け出る夢
を見た後は、ジュンホンがゲームを断
ち切って学校生活と信仰生活をちゃん
としています。長男サンヒョクは蓄膿症
がいやされて視力が良くなっただけ
でなく、ふだん教会に来れば後ろの席
で寝ているだけでしたが、牧者の愛を
感じた後に変えられて、今はゲームを
断ち切って、前の席で礼拝をささげ
る子になりました。

このように暮らしの中に証しがあ
ふれています。何よりも家族が最も美
しい天国、新しいエルサレムを望んで
、主にあつて一つになって生きていく
のですから、幸せで感謝ばかりです。
このように驚くばかりに働かれた三位
一体の神様にすべての感謝と栄光を
ささげます。

「奉仕をしたら 関節炎も いやされて 憂い、心配が なくなりました」



パク・ヒョンホ勸士
(60歳、奉仕委員会奉仕部長)

私は2006年から奉仕委員会で働いて
いますが、不思議なことに、ひと晩寝て起
きれば疲れがすっかり取れているのをいつも
体験しています。大きい行事の後も、いつ
も体が軽いです。

奉仕を始める前は関節炎で苦しんで
いましたが、喜んで奉仕をしたら、6か月目
にいやされました。この他にも神様は私の
体の弱いところをいやして健康にしてくだ
さいました。

*

主日に聖徒さんたちがお昼に召し上
がるにゆめんを用意するために、平日は大
根、煮干、ネギなどを注文して、金曜日の
午前から届いた材料を下ごしらえしてお
きます。土曜日の夕方には用意しておいた
材料を他の奉仕者と一緒に配分して、主
日の早朝から食事をする場所に分けます。
1部大礼拝の後は教会学校のためにだし
をとります。

特に収穫感謝祭、イースター、教会の創
立記念行事など特別な日には、さらに気
を遣って用意しますが、感謝と喜びでい
っぱいです。

*

前はいつも心配している毎日だったの
に、今は神様が下さった家もあつて、毎日
毎日心配事なく暮らしています。他の奉
仕者の方々も喜んで奉仕しています。す
べてが尊い聖潔の福音と神の力あるわざ
で作られた実であり、神様の恵みと祝福
です。



前列左から兄嫁の父キム・ドンジュ聖徒、おいチェ・ジュンホン君、母キム・スンダ執事、妻の母キム・スジャ勸察、娘キム・ダエ姉妹、妻パク・ギョ
ンエ執事、後列、兄嫁キム・ランヒ執事、兄キム・ジョング執事、妻の姉の夫チェ・ソソウオン聖徒、キム・ジョンウン執事、おいキム・ドンホ兄弟、
息子キム・ダビン兄弟、おいチェ・サンヒョク兄弟、妻の妹パク・ギョソファ勸察

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980
- イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- 岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691
- イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>
- イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472



「神様の恵みに少しでも報いることができるので感謝です！」

良い、美しい主の心に似せられたまことの子どもになろうと、信仰と希望をもって喜んで自分の使命を果たし、忠実に仕えることで神に栄光を帰している聖徒の祝福の証しを聞いてみよう。



ノ・ UIFAN 執事(62歳、万民奉仕隊一般隊)

「脳卒中がいやされて奉仕できるように健康を下さいました」

1998年2月、右手が動かなくなったので病院に行ってみました。お医者さんは脳の血管が詰まっていると言いました。その後、右側の麻痺が進んで、私は仕事を辞めて家で休んでいました。その年の5月のある日、故郷の友だちイ・キュドン長老が訪ねて来るなり「一緒に行こう！」と言うから、ついて行ってみると万民中央教会の「第6回2週連続特別リバイバル聖会」でした。

私は集会に参加して、堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教と神様への誠実な姿から、何が信仰なのか悟り始めました。それで、長い歳月やめられなかった酒とタバコもすみやかにやめられたし、礼拝のたびに堂会長先生のいやしの祈りを受けて、次第に麻痺した体も回復していきました。

神様の前に感謝して、私も何かしなければと思っているうちに、万民奉仕隊に入らないかと提案されました。その後、主日になると朝4時に起きて教会へ向かいます。京畿道ブチョンからソウル市クロ洞まで、来る道がワクワクして幸せです。

教会に着くと大きい鍋にだしを入れてガス台に載せ、どんぶりも拭いておきます。大礼拝をささげたら皿洗いをして、また夕方礼拝を終えれば、体の不自由な聖徒さんたちを車椅子に乗せて教会バスの所までお送りした後、聖殿の掃除をします。それでも、夜9時から始まるダニエル徹夜祈禱会まで終えて、夜11時を超えて家へ向かう足取りは軽いです。

いつの間にか奉仕を始めて10年を超えました。

脳卒中をわずらっていた私が完全にいやされて健康になり、物質の祝福もいただいて生きていくのですから、すべてが神様の恵みです。



チエ・ムニ勸士(47歳、迎接委員会迎接委員)

「変わらず忠実に仕えと すべてに責任を負ってくださいました」

1995年に結婚した後、お医者さんから子宮に大きいしこりがあるから胎児が圧迫されているからリスクが高い、というショッキングな話を聞きました。私は手術を控えて不安で、いどこに電話をかけました。誘われて万民中央教会に出席することになり、定めて祈っていました。そうしているうちに万民祈禱院イ・ボンニム院長の祈りと、夢で見た堂会長イ・ジェロク牧師先生の言葉を通して祈りが答えられたと確信し、元気な男の子を出産しました。

このような神様の恵みに感謝して、教会からいただいたいろいろな使命を、最善を尽くして果たしました。主日大礼拝の時は案内委員と献金委員として、昼食の時は宣教会の役員として会員を顧み、親交室の奉仕を終えた後、夕方礼拝の時はシャローム聖歌隊員として賛美し、忙しい主日を送りました。

特に私たちの教会を訪問した海外のお客さんの接待をしながら、神の力を体験してとても恵みを受けておられる姿を見ると誇らしく、心が満たされているのを感じました。

すると自分はよくやっていると錯覚し

てしまい、自分自身の心をまともに発見できなくなっていました。愛なる神様は試練を通して自分を発見するようにして、結局御霊に属する心に変えられるように祝福してくださいました。

それだけでなく、主人のファン・スヌク執事は職場で団長に昇進し、息子イェジュンは今年初め漢陽大学校工科大に定時募集の首席で合格する祝福をいただきました。このようにたましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得ている祝福の道へと導かれる三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をささげます。



オ・ミョク勸士(47歳、芸能委員会ヘアメイクアップチーム長)

「使命を通して霊肉ともにあふれる 祝福をいただきました」

私はケニア・ナイロビ万民教会で6年間信仰生活をしているうちに、ウガンダとケニアで開かれた「イ・ジェロク牧師招へい連合大聖会」に参加して、神の力で数えきれないほど多くの人がいやされるのを目撃しました。

2004年、韓国に帰って来て、堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りで胃腸病がいやされる体験を通して、教会と牧者をさらに信頼するようになりました。その当時、私はヘアサロンをしながらGCN放送の万民マガジン撮影時のヘアメイクアップ奉仕をしていました。

そうしているうちに芸能委員会委員長イ・ヒジン牧師先生の配慮でヘアメイクアップチームを組織することになりました。主を愛する方々が一人二人と集まって、今は26人になりました。教会の礼拝や行事、特別賛美の時はもちろん、ダニエル徹夜祈禱会のコーラスチーム、GCN放送の番組撮影の時のヘアとメイクアップの責任を負っています。

神様の恵みによって日が経つにつれてチーム員の信仰が成長し、霊肉ともに祝福もいただいているのですから、

感謝しきれません。私もやはり使命を通して心が聖められたし、今まで守られて健康になりました。

さらに両親が伝道されて、父オ・セボク執事は枯葉剤後遺症が、母オム・ソンプン執事は狭心症、心臓病などの病気がいやされて、天国への希望の中で喜びながら生きていくので、ただ感謝です。

愛なる神様にすべての感謝と栄光をお帰しし、尊いいのちのみことばで養い育ててくださる堂会長先生にも感謝いたします。



1月支教会スケジュール

1月22日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会 (講師:キム・マルコ牧師)	1月25日(日)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 スンギル牧師)
1月22日(日)	大阪万民教会	リバイバル癒し聖会 (講師:キム・モニカ牧師)	1月29日(日)	名古屋万民教会	癒しの集会(講師:時國みや子牧師)